

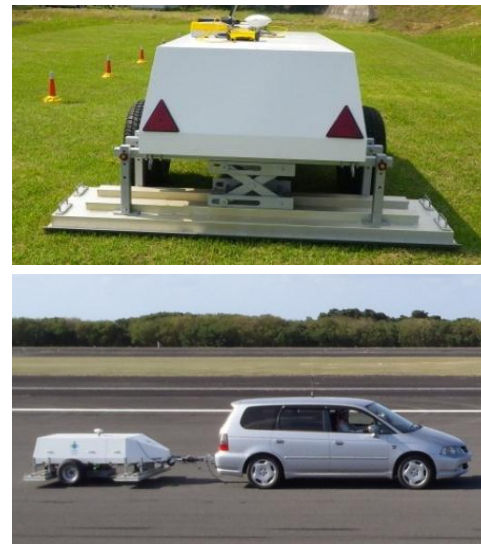
硫黄島滑走路地区等における
御遺骨・壕の存否を確認する調査の結果について

平成25年12月6日
防 衛 省

高性能地中探査レーダの概要

<概要>

- 防衛省が硫黄島の滑走路下における地下壕及び遺骨の存否を確認することを政府内で取り決め
- そのためには、公共工事で一般に使用されている地中探査レーダで調査が可能な深さよりも深い位置で調査する必要があり、高性能地中探査レーダを新たに開発
- 平成24年度及び25年度に同レーダを用いて、滑走路地区等の調査を実施



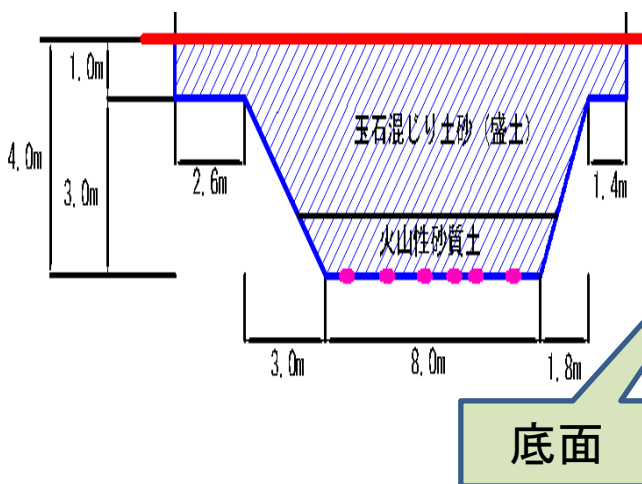
探査モード	探査深度	探査対象
地下壕探査モード	地下10m	50cm規模の空洞
御遺骨探査モード	地下4m	直径3cmの円柱状のもの (大腿骨を想定)

高性能地中探査レーダ(御遺骨)における探査対象について

遺骨収容においては、大腿骨1対をもって1柱と整理していることから、当該探査レーダにおいても大腿骨(直径3cmの円柱状のもの)を想定し、御遺体が埋まっていた場合、複数の御遺骨があると考えられることから、「直径3cmの円柱状のもの以上のもの」を対象に探査を実施したところである。

なお、当該探査レーダの開発段階において、ブラインドテストにより人骨標本、獣骨及び石を埋設し、性能確認したところ、これらを探知したところである。

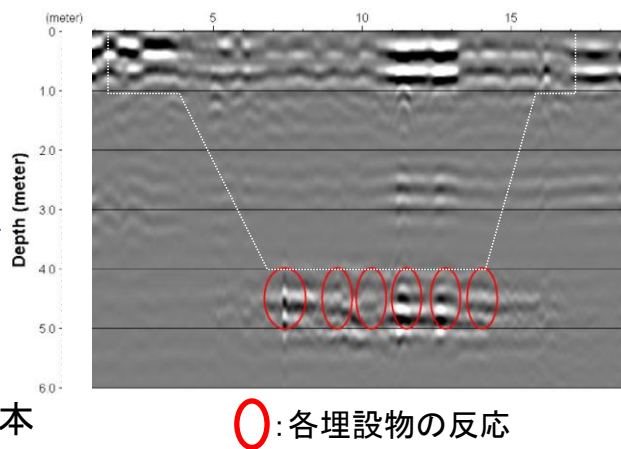
○ 遺骨標本埋設図



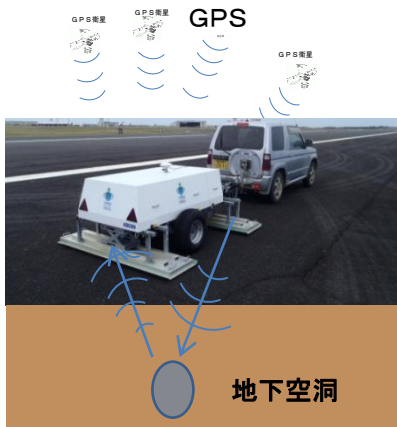
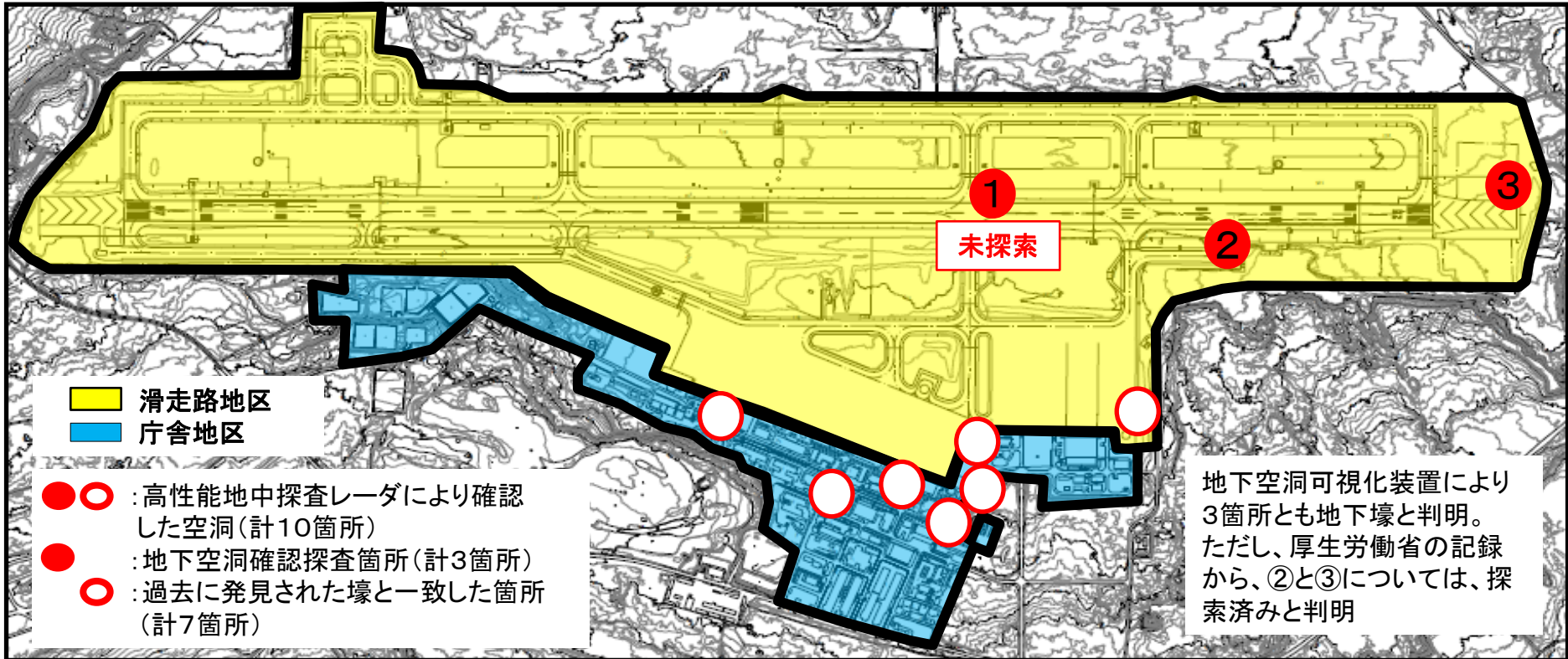
○ 遺骨標本埋設写真



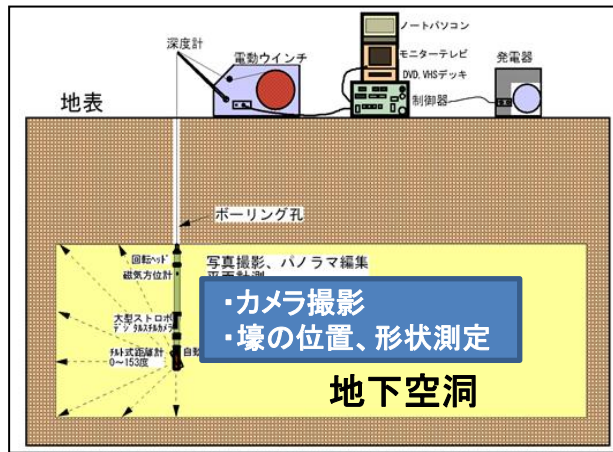
○ 遺骨探査能力確認結果



高性能地中探査レーダ(地下壕)の調査結果



高性能地中探査レーダ

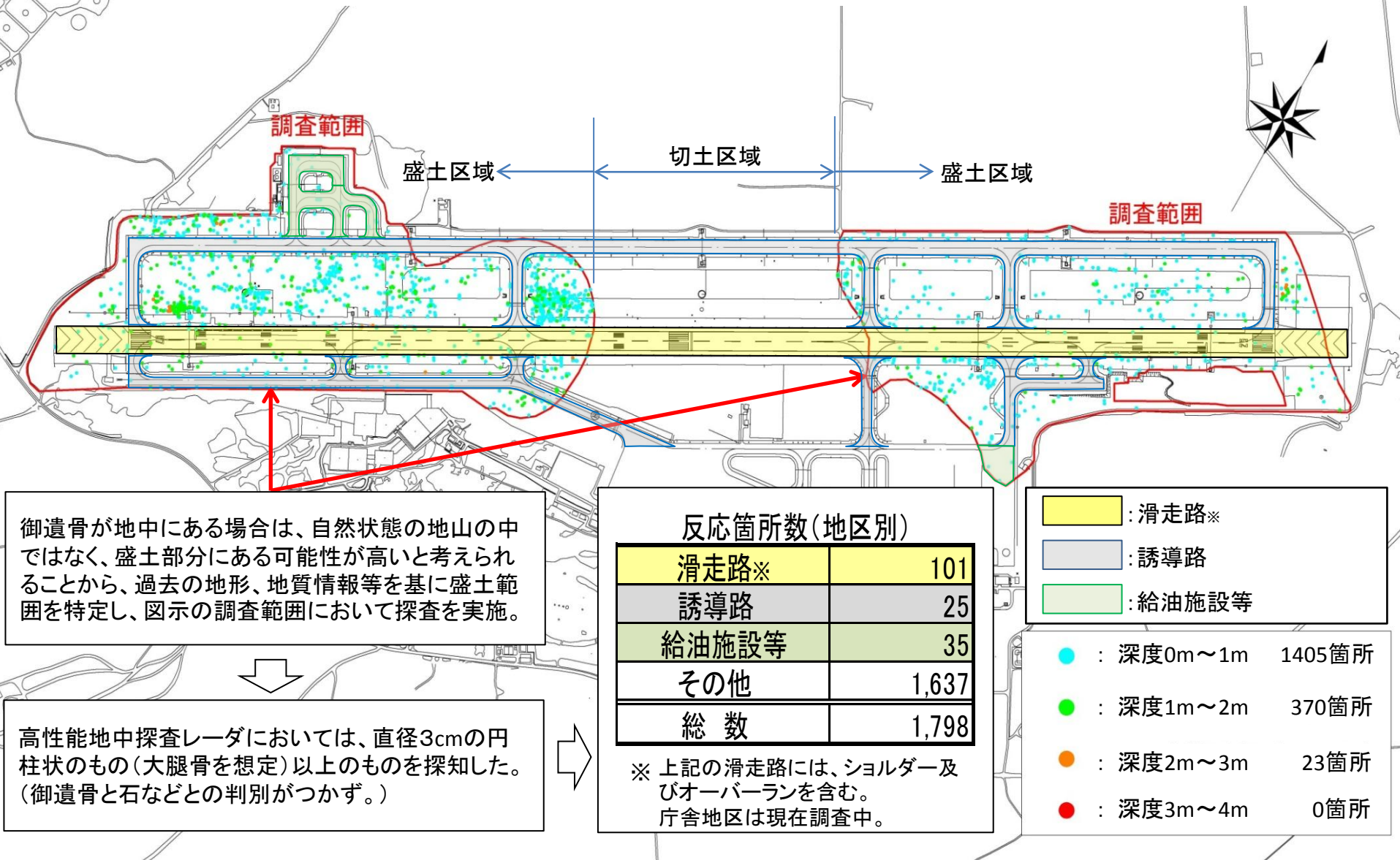


地下空洞可視化装置



地下壕①の状況

高性能地中探査レーダ(御遺骨)の調査結果について



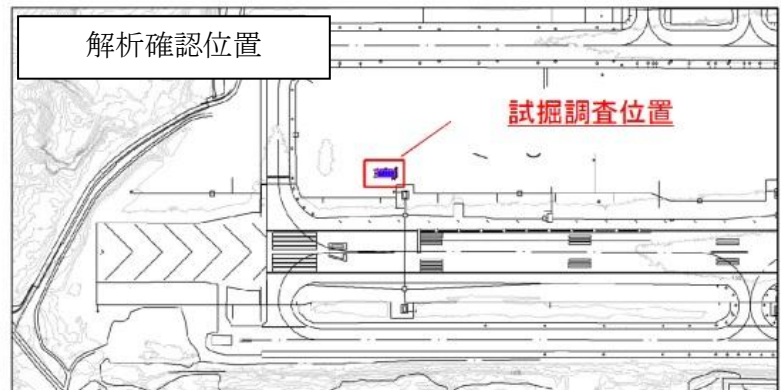
高性能地中探査レーダ(御遺骨モード)反応点の試掘調査の結果



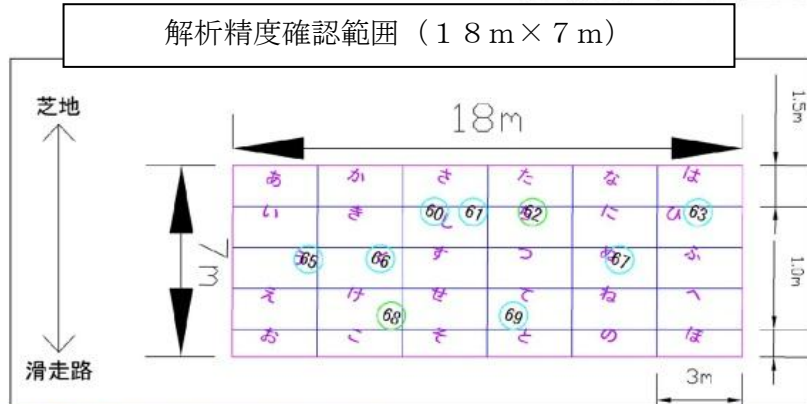
反応点 6 0、6 1



反応点 6 2



反応点 6 5



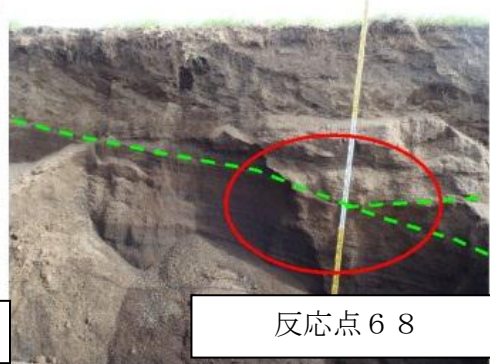
反応点 6 3



反応点 6 6



反応点 6 7



反応点 6 8



反応点 6 9

解析精度確認範囲を30分割し、各区画を深さ1m毎に掘削を行い、ふるいにかけて確認。

⇒ 9か所の反応点のうち、8か所から実際に固形物が発見され、かつ、それらは全て石であった。
(1か所(反応点68)は、地層の変化に反応した模様)